

徳育に関する情報を発信!!

徳育ニュース Vol.1

徳育とは？

徳育（とくいく）とは、人間としての心情や道徳的な意識を養うことをいいます。

市では、教育理念『心ゆたかな人づくり』に基づき、「思いやりの心」や「おもてなしの心」などの豊かな心や人間性を養う「徳育」を、市内各所での地域の人との交流や奉仕作業をすることにより拡げています。

何をすればいいの？

「徳育」と聞くと、何か特別なことをしないといけない気がして難しく感じてしまうかもしれません。しかし、あいさつをすること、困っている人に手を差し伸べること、進んでごみを拾うことなど、日常の些細な出来事はどれも徳育に繋がることです。地域に根付いたおもてなしの心と報徳の精神（感謝の心）を根底とした小さな取り組みの積み重ねが、人と人との温かい人間関係を育み、より住みやすいまちづくりに繋がります。

活動紹介

地域の青少年声掛け運動

袋井市教育委員会では、地域ぐるみで健やかな子どもを育てるため、「地域の青少年声掛け運動」を推進しています。

この運動は、地域で生活をしている子どもに、周りの大人が温かなまなざしを向けて、声を掛け、積極的に関わることにより、子どもの健やかな成長を支援していこうというものです。

子どもに挨拶をする、良い行いをほめる、頑張っている姿を励ますなど、声を掛けることで、子どもは、地域の大人に見守られている安心感を抱くとともに、自尊心（自分の人格を尊重し、大切に思う心）や自己肯定感（自らの価値や存在意義を肯定できる感情）が高まるなど、健全育成への効果が期待されます。

子ども以外でも、声掛けをすることで、多くの人と繋がることもできます。まずは身近な人を対象に実践してみることが声掛け運動の第一歩です。



この度、袋井ライオンズクラブがこの運動に賛同し、オリジナルの「のぼり旗」を製作して、子どもたちの通学の時間帯に、市内中学校・袋井駅前「あいさつ運動」を行いました。

令和2年11月19日(木) 袋井中学校正門にて

